

**【1 月度定例会】** 2018 年 1 月 13 日(土)

理事	高野(高野デザインプロデュース)		秋葉(秋葉建設)		
会員	久保田	近藤(近藤商事)	初芝	藤田(藤田建築)	立川
	竹中(竹中修建築設計室)	川砂(do.建築工房)	初芝(真)	城	阪本(アヴィスト)
	秋葉(拓)	佐々木(佐々木建設)	石橋(石橋材木店)		都澤
オブザーバー	篠崎様				

参加者 9 名

**定例会** 13:30~16:30

**■ はじめの言葉**

あけましておめでとうございます。  
 今年の動きも検討して行きたいと思います (秋葉)

**■ オブザーバー自己紹介・会員近況報告**

- **久保田**：正月に行った canon (市原市潤井戸 1105-1) で、オーナーから『いつも普請している』という話が興味深かった。  
 木更津本店→昔の郵便局を改装し 2 号店→BAR→古民家回収による café(カノン)  
 <<http://mokuyosya.net/index.html>>  
 カノンは立地環境もよく、周りは農家ばかりだが雰囲気がある。古民家利用の成功例になるのでは？と感じました。
- **城**：インターネットで全国の茅葺民家リスト情報があるとのこと  
 (H14 年~H 15 年にかけて各市町村からの報告による推定リスト※現状未公表)  
 恐らく、全国的に実際に調査した茅葺リストは無いのではないかと。  
 →自身の茅葺写真集の内容とリスト情報をどのようにまとめようか？検討中。
- **初芝**：仕事が立て込んでいて(3月竣工予定)プライベートがなにも出来ていない。  
 4月以降は古民家や木造住宅のスケッチなど、趣味の時間を作りたい。古民家と対極の仕事をしているが、日々行政の仕組みは“開発業者に有利になっている”と感じる。個人の力ではそういう仕組みを変えることはできないが、何かできないものかと考える。
- **秋葉(拓)**：現場監督らしい仕事と CAD を始めて苦労しています。古民家改修案件がもう少しで終わりそうです。
- **秋葉**：この時期は地元から富士山が見えるので正月らしいな、と感じます。年末の挨拶回りは 200 件が通例です。
- **都澤**：年末年始は家に籠って DIY をしました、快適・ストレスが軽減する作りになったので満足しています。
- **篠崎(オブザーバー)**：大分県出身。今は白子町で両親が経営していた旅館を運営しています。古民家に興味を持ったきっかけは銀行から古民家再生の旅館を打診されたこと(DM0)。 ※DM0:官公庁等を主導にした観光地域マーケティング・マネジメント

但しDMOでの経営は制限などもあるので自分で古民家を探して旅館を企画している。泊まる(箱)だけではなく、古民家の歴史や衣食住を体感できる(中身の厚い)場へ。今回は古民家について学ぶため参加しました。

## ■ 最新情報

- **古民家平山邸の最新情報** <参考 URL <https://www.instabase.jp/space/2615> >
  - ・ 今後の計画：NIPPONIA SAWARA との連携を見据えて宿泊施設へ改修予定
  - ・ 主な課題・周辺住民との関係性をどのように保つか…文化の違いやマナーの心配。
    - ・ 情報発信の方法、魅せ方など。
    - ・ 現地までの交通機関がない→外国人はレンタカーに慣れて(旅慣れて)いるが、交通事故なども起きている…日本で受け入れ時に講習等必要？
  - ・ コンセプトの確立：宿泊を拠点とした周辺観光/何もしない贅沢という空間か。

## ■ 古民家すまいの相談：篠崎様

- 白子町の現状…農家が多いが跡継ぎがおらず手入れも出来ていない。結果、太陽光発電が増えている。
- 田舎の景観を残す方法として外部からの体験カリキュラムなど、宿泊施設は文化。
- “商売”としての宿泊施設＝雇用・地域創生活性
- 個々人の経営力の増加が必要
- (上記篠崎さん関連で) 地方銀行の矛先が、大多喜・佐原・香取などへ向いている。

## ■ “百年名家”の映像鑑賞

1：旧御子神家・旧平野家比較（於：房総のむら）

特徴…旧御子神家（安房）…建築年代は1780年辺り

旧平野家（上総）…建築年代175年辺り

旧平野家が30年も前に建てられているが、江戸に近かったことや財力があつた事で旧御子神家よりも近代的な造りで時代背景や建築の進化を読取れる



2：岩崎家（於：富里市）

特徴…旧三菱財閥3代目総帥 岩崎久彌の別邸、昭和2年（1927）建築  
慎ましいが本人が住みたいと思った建物。設計：津田鑿（スタサク）

主室からの風景や間取りにも人柄が現れている。



## ■ 今後について

- ・ 見学会を増やす
- ・ 活用事例を見に行く、意見交換、共有・発信
- ・ 事業化を見据えた仕組み…古民家の中身を発信、価値を提供することで深みを与える
- ・ 他県との交流
- ・ 異業種との交流コラボ